

—CEATEC JAPAN 2012 電子情報通信学会 特別シンポジウム—

電子情報通信学会では CEATEC JAPAN 2012 のコンファレンスの部において、産官学各界を代表する皆様による特別シンポジウムを開催致します。

東日本大震災から1年半がたち復興に向けた動きが活発化しています。この大震災により、ICT（電子情報通信技術）にも多くの貴重な教訓が得られました。そこで、これらの教訓を踏まえた上で、一層の安心・安全でスマートな活気のある社会の実現を目指して、これからのICTのあり方や、その利活用の将来展望を中心に、産官学それぞれの立場から日本のICTの進路について思いを語って頂きます。

日 時：2012年10月4日（木） 14：00～17：30

会 場：幕張メッセ国際会議場 2階 コンベンションホール A

テーマ：「日本の新たなICTの進路——震災後のICTのあり方とその利活用を探る——」

主 催：一般社団法人電子情報通信学会

プログラム案

14：00 開会及び趣旨の説明 電子情報通信学会会長（京都大学） 吉田 進氏

14：05～14：25 基調講演「安心・安全のための電子情報通信技術への期待と政策」
総務省官房総括審議官 久保田誠之氏

14：25～14：55 基調講演「未来社会の人材育成へのICTの応用」
日本学術振興会理事長（慶應義塾学事顧問） 安西祐一郎氏

14：55～15：05 休憩

15：05～16：20 パネリスト発言（各15分）

(1) 東日本電信電話株式会社社長 山村雅之氏

(2) 日本放送協会理事技師長 久保田啓一氏

(3) 日本電気株式会社社長 遠藤信博氏

(4) NICT 耐災害 ICT 研究センターセンター長（東北大学名誉教授） 根元義章氏

(5) 株式会社国際電気通信基礎技術研究所社長 平田康夫氏

16：20～17：25 討論

17：25 閉会挨拶 電子情報通信学会次期会長 井上友二氏

以上